

議会だより

第 65 号

2021. 8 月

発行 / 八幡浜市議会

～令和 3 年 5 月臨時会・6 月定例会号～

一 さあ考えよう
明日の八幡浜を考えよう 一



議案等別表決一覧表…… P 2

一般質問の見出し…… P 3

一般質問（7人）…… P 4～P10

各常任委員会報告…… P11～P12

編集後記…… P12

～議会を傍聴しませんか～

傍聴席は八幡浜庁舎7階にあります。議会の傍聴は、入口にある受付簿に住所、氏名などを記入するだけでどなたでもできます。

～インターネット配信について～

インターネットで本会議（開会日、一般質問）の中継録画を配信しています。八幡浜市議会のホームページからご覧ください。

こちらからアクセス ⇨



議案等別表決一覧表

令和3年5月臨時会（会期：令和3年5月17日）

○：賛成、×：反対、－：退席、欠：欠席
 （※石崎久次議長は採決に加わっていません）

番号	件名(摘要)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	審議結果
		欠	遠藤綾	菊池彰	西山規	佐々木加代子	竹内秀明	平家恭治	河野裕保	石崎久次	樋田都	新宮康史	上田浩志	井上和浩	宮本明裕	山本儀夫	大山政司	
報告第7号	専決処分の報告について（八幡浜市市税条例等の一部を改正する条例の制定について）		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案承認
報告第8号	専決処分の報告について（八幡浜市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について）		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案承認
報告第9号	専決処分の報告について（過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づく固定資産税の課税免除に関する条例の制定について）		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案承認
報告第10号	専決処分の報告について（令和3年度八幡浜市一般会計補正予算（第1号））		○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	原案承認
報告第11号	専決処分の報告について（南環境センター場内通路において発生した衝突事故に係る相手方との和解及び損害賠償の額の決定について）		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	報告
議案第43号	八幡浜港フェリー岸壁築造工事（その8）請負契約の締結について		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第44号	令和3年度八幡浜市一般会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決

令和3年6月定例会（会期：令和3年6月1日～令和3年6月18日）

報告第12号	令和2年度八幡浜市一般会計繰越明許費繰越計算書		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	報告
報告第13号	令和2年度八幡浜市港湾整備事業特別会計繰越明許費繰越計算書		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	報告
報告第14号	令和2年度八幡浜市一般会計事故繰越し繰越計算書		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	報告
報告第15号	令和2年度八幡浜市下水道事業会計予算繰越計算書		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	報告
報告第16号	令和2年度八幡浜市水道事業会計予算繰越計算書		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	報告
報告第17号	令和2年度市立八幡浜総合病院事業会計予算繰越計算書		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	報告
報告第18号	債権の放棄について		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	報告
同意案第1号	教育委員会委員の任命について		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案同意
同意案第2号	公平委員会委員の選任について		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案同意
同意案第3号	公平委員会委員の選任について		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案同意
同意案第4号	公平委員会委員の選任について		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案同意
議案第45号	八幡浜港スロープ建築工事請負契約の締結について		○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第46号	「フェリーターミナルビル新築建築主体工事請負契約の締結について」の議決変更について		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第47号	八幡浜港港湾施設の管理及び利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第48号	八幡浜市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第49号	市立八幡浜総合病院職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第50号	八幡浜市民文化活動センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第51号	令和3年度八幡浜市一般会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第52号	令和3年度市立八幡浜総合病院事業会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第53号	大島漁港再整備工事（その6）請負契約の締結について		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
同意案第5号	教育委員会教育長の任命について		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案同意
議案第54号	令和3年度八幡浜市一般会計補正予算（第4号）		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決
選挙第2号	八幡浜市選挙管理委員及び同補充員の選挙		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	指名推選
議員提出議案第2号	八幡浜市議会の解散に関する決議について		×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	原案否決
	懲罰特別委員会委員の選任																	指名推選
	河野裕保議員に対する懲罰の件について		×	○	×	○	○	○	除斥	※	○	○	×	○	○	○	○	原案可決

一般質問

7人が市政をただす！

11人が聞きたい！

今定例会では、7人の議員が一般質問に立ち、市長はじめ関係理事者の考え方をただしました。

掲載は質問順で、質問及び理事者答弁は質問者本人が要約したものです。
なお、一般質問の詳細につきましては、会議録に掲載しています。

*会議録は、市議会ホームページ上 (<http://www.city.yawatahama.ehime.jp/sigikai/>)、議会事務局、市立図書館、中央公民館、中央公民館保内別館でご覧になることができます。

質問者（質問順）	質問項目	ページ
井上 和 浩	① 政策の順位づけについて	4
樋 田 都	① みかん産地を支えるアルバイト確保支援事業について ② にぎわう「街」をもう一度について ③ 市営納骨堂の進捗状況について	5
竹 内 秀 明	① 障がい者入所施設及び障がい者支援の整備について ② 中高生や若者たちが集い遊べるプレイグラウンドを	6
佐々木加代子	① 新型コロナワクチン接種について ② 図書館に本の除菌機（消毒器）を設置しては ③ ごみの減量化に向けての取り組みについて ④ 市営住宅の補修・改修について	7
菊 池 彰	① 防災関連について ② コロナ禍での支援の成果と施策について ③ 食品ロスについて	8
遠 藤 綾	① 樋口英明著「私が原発を止めた理由」から学ぶ原発の未来について ② 誰もが気軽に外出できるまちづくりについて	9
西 山 一 規	① G I G Aスクールとプログラミング教育について	10

井上和浩議員



事務事業や政策の優先順位をどのように決定するのか！

市長

緊急度や必要性、財政状況を総合的に判断し決定する

政策の優先順位について

問 多くの自治体が、次々と生まれる新たな行政サービス需要の発生と歳入の減少という局面に直面している現在、総合計画を基軸としてその予算配分を行うとき、事務事業の優先順位や政策の優先順位などを、どのように決定しているのか。

答 それぞれの事業の実施に当たって、最も優先されるものは、市民生活にとって緊急度の高い事業、例えば災害対応といった市民の命や安全に関わる事業で、今まさに取り組んでいるワクチン接種をはじめとする新型コロナウイルス感染症対策がこれに当たる。また、市民にとって必要性が高い事業か、多くの市民が恩恵を受けることができるか、地方自治体の使命である市民の福祉の増進という点から重点な基準となる。

さらに、市の財政状況を踏まえ、限られた財源を有効に活用するという観点から、国、県の補助金や優良起債の活用ができるかどうか大きな判断材料となる。

問 行政評価や事務事業評価を行うことは、自らの自治体の言わば成績表であり、他の自治体と比較したり市民に

公開する際のツールとしても重要と思われる。

また、総合計画を基軸とした行財政運営の進捗度や、それらの成果を地域住民に明らかにすることで、一般市民の行政への参加意識の啓発にもなり、大切なことと思われるが、行政評価及び事務事業評価はどのように実施されているのか。

答 年間予算策定時に各事業予算を査定する過程で、各担当部署内での各事業の検証を踏まえ、幹部職員がヒアリング、査定をすることが合理的であり、これが事務事業評価であるという捉え方をしている。新規事業や見直しを含め、費用対効果や市全体の施策を俯瞰した視点で考えるには、予算査定時が最適なタイミングであり、単なる予算査定に終わらず、十分な時間をかけ、事業の必要性や効果、将来にわたる展開などについても審査をしている。

また、大規模な事業を実施する場合などには、外部の検討委員会や協議会などを立ち上げ、現状の施策を含め、様々な議論を行い、その結果は必要に応じて公表をしている。

問 行政が行う実施計画と住民が求める要望に乖離は出てこないか。

答 市民からは赤道・青線の修理から、ごみステーションの補修、農道・市道の整備、また公園整備とか補助金、支

援施策の充実、新規事業への取組など、様々な要望をいただき、また事業者からは、事業の維持・拡大に直結した施策について要望をいただく。

予算の制約もあり、要望を常に100%実施することは困難だが、できる限り応えたいと思っている。そういう意味では、市民の要望とは、おおむね行政の取り組むべきことであると見たとき、根本的に両者の間で乖離はないものと考えている。

ただし、市としては、将来を見通して個別の要望を超えた大きな枠の中で事業を構成する必要もある。財源の制約という厳しい条件の中で、優先順位を考えながら仕事を進めていくことが重要だと常に考えている。



樋田 都議員



コロナ禍のみかん産地を守るため！

農林課長

JAにしゅうわ・愛媛県と協議し助成を講じたい

みかん産地を支えるアルバイター確保支援事業について

問 令和3年度におけるPCR検査の実施方法・宿泊施設支援・飛沫感染予防対策への予算確保はできているか。

答 JAにしゅうわでは、今年度のアルバイター受け入れに係るPCR検査の実施について、来県前・来県直後・来県一週間後を合計3回のPCR検査を実施すること。市としてはコロナ感染防止対策、みかんアルバイターによる労働力確保の支援を図るため、愛媛県、JAにしゅうわ等と協議し、関係必要経費の助成を講じる。また、市として愛媛県に係る予算の確保を要望していきたいと考えている。



収穫作業するみかんアルバイター

宿泊施設について、宿泊施設確保のための空き家改修、施設の個室化の改修、整備に係る経費、またアルバイターの宿泊先としてホテル・旅館・空き家・アパート等を借り上げた経費及び、飛沫感染予防対策にかかる消毒液、マスク及び非接触型体温計等の購入に要する経費の助成を講じる。

にぎわう「街」をもう一度について

問 プレミアム商品券・やわたはま食うぼん券の引換え率と利用状況、今後の取り組みについて。

答 昨年9月1日から実施したスーパープレミアム付商品券は、全市民3万2千760人のうち2万8千972人、88.4%の方が購入引換えし、市内501の登録店舗で5億7千7百68万1千円、99.7%が使用された。

現在実施中であるスーパープレミアム付商品券第2弾は、全市民3万2千5百15人のうち2万9千184人、89.8%の方が購入引換えし、6月1日現在で市内524の登録店舗で4億6千947万7千円、80.4%が使用されており、6月30日が使用期限となっている。また、プレミアム付飲食券やわた

はま食うぼん券は、6月2日に発行部数3万冊を完売しました。5月31日現在、市内110の登録店舗で1億6千378万円、74.6%が使用されている。

なお、やわたはま食うぼん券については、本議会の補正予算案として5千冊増刷するための予算を上程している。使用期限である8月31日まで引き続き市内の飲食店及び仕入先や生産者への新型コロナウイルスの影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起し、下支えしたい。

市営納骨堂の進捗状況について

問 やすらぎ聖苑の隣に納骨堂を造れないか。

答 やすらぎ聖苑の隣にはフラワーパーク等もあり、風光明媚なところではある。隣接地に市営納骨堂ができるかどうかとも踏まえて市の選考を進めていきたい。



やすらぎ聖苑

竹内秀明議員



中高生や若者たちが集い遊べるプレイグラウンドを！

市長

中高生や若者が遊べる場所が整備できるように前向きに検討していきたい

若者たちが安全・健全に遊べる施設

問 当市にある公園や児童館は、いつでも誰でも自由に遊べることを基に設置され、小学校高学年や中学生、高校生も利用できるふれあいの場として運営されている。しかし、幼児などの小さい子ども向けに作られた公園も多く、スリー・オン・スリーやスケートボード、プレイボードなどで思い切り遊べないといった声が多く聞こえる。最適なコンクリートやアスファルト舗装の場所は、車や歩行者の往来で危険なため、学校や地域などから禁止されている場所が多いと聞く。そこで、小学校高学年や中学生の保護者そして若者とともに安心でき、安全かつ健全に遊べる施設をぜひとも検討いただきたい。

答 スポーツが多様化している中で、今後このようなスポーツの競技人口や愛好者が増えていくことが考えられる。一方で、そのようなスポーツができる大規模な施設の整備については、新たに土地の取得や整備に多額の費用が必要となるほか、周辺住民の理解を得るなど、解決すべき課題も多くある。市としては、スケートボードやプレイボード、3人制バスケットボール等のスポーツの普及状況を注視していくと

ともに、まずは既存施設の活用範囲の拡大や、例えば王子の森公園にバスケットゴールを新設するなど、中高生や若者が遊べる場所が整備できるよう検討していきたい。



プレイボードで遊ぶ子供たち

障がい者入所施設及び障がい者支援の整備

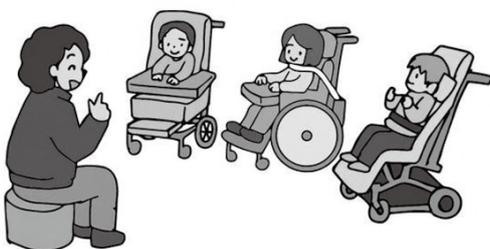
問 旧喜須来保育所園庭を、民間事業者による障がい者グループホーム設置・運営を支援するために貸し付けることとし、希望する業者を募集していた。しかし、土砂災害警戒区域、さらに家屋倒壊等氾濫想定区域に指定されたことを受けて、優先的な整備は望めず、認可されないことも懸念され、建設は困難になったが、今後どのように対処していくのか。

答 現在、県外の民間事業者が市内にグループホームの整備を計画しているという話を伺っており、今後は、この

民間事業者の動向を注視しながら、障がい者団体等と意見交換を行い、中長期的なサービスマイル利用の需要等を踏まえ、入所施設の整備・運営について支援を図っていきたい。

問 小規模でもいいので市内にある数か所の廃校を利用して、選択肢の一つでもある特別支援学校の設置ができないものか。

答 県内にある特別支援学校は、愛媛大学教育学部付属特別支援学校を除きすべてが県立学校で、施設・設備、教職員の配置等を考えたとき、市が独自で特別支援学校を設置することは困難だが、今後も障がいのある児童・生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善、克服できるよう適切な指導と必要な支援に努めていく。



佐々木加代子議員



ごみ処理費用をごみ袋に印刷してごみの減量への意識啓発に取り組んでは！

生活環境課長

処理費用のほか、ごみの減量化につながる表現も含めて具体的に検討したい

ゴミの減量化に向けての取り組みについて

問 令和元年6月議会で、プラゴミの2週に1度の回収とごみ袋のサイズについて伺ったが、その後改善されたことなどはあるか。

答 プラゴミの回収の見直しについては、燃やさないゴミ、資源ごみの回収日の組替えや環境センターの処理方法の見直しが難しく、現状では変更できない。また、燃やさないごみ袋のサイズについては、これまで20年間、30ℓの1種類のみできていたが、新たに45ℓを追加することとした。今後条例改正等、令和4年4月からの使用開始に向け、準備を進めていく。

問 伊予市の事例を紹介する。伊予市では、2020年8月から可燃用ごみ袋の表面に1袋を処理するのにかかる費用を印刷し、ごみ減量への意識啓発に取り組んでいる。昨年8月から段階的に費用が印刷されたごみ袋が導入されており、2月末までに前年比で約7万枚のごみ袋の売上げが減少しているという。この伊予市での取り組みを当市でも行ってみたいかどうか。

答 ごみ処理費用をごみ袋にプリントすることについては、処理費用のほか、ごみの減量化につながる表現も含め、

具体的に検討したい。



処理費用がプリントされた伊予市のごみ袋

新型コロナウイルス接種について

問 現ワクチン接種の案内が届いたけれど、何をすればいいのか解らずそのままにしているという高齢者の方や、障がいをお持ちの方への支援はどのように考えているのか。

答 できるだけ解りやすく同封の説明文書で説明しているが、予約方法がどうしても解らないご高齢の一人暮らしの方などは、お住まいの地域に民生委員や見守り推進委員がおられるので、その方にも協力を依頼している。また、聴覚に障がいのある方などの個別に特別な事情がある方については、再度相談していただきたい。

問 宇和島市では65歳以上の移動が困

難な方を対象に、片道500円でタクシーを利用できるワンコインタクシーの接種応援策を実施している。当市ではこのような交通手段助成は考えられてはいないか。

答 費用の助成を行っている自治体があることは承知している。当市では、現在市内29医療機関による個別接種を基本としており、日常利用されている医療機関が中心であることから、今のところ交通費の助成を行う予定はない。ただし、高齢者外出支援事業によるタクシー券などが使えるので、利用していただきたいと考えている。

市営住宅の補修・改修について

問 4階・5階に入居された方が、長期間の経過とともに、足腰が弱ってきて、本人が低層階への移住を希望された場合は、考慮してもらえるか。

答 一定の要件を満たした場合について認めている。主な要件として、身体障害者手帳の移動機能障害に区分される等級が4級以上と記載されている者または、介護保険制度において要介護認定されており、医師による階段の上り下りが困難である等の診断書を提出した者と同居する世帯が対象で、現住宅の1階への入居替えを認めている。

菊池

彰議員



DIG・HUGを活用した、より有意義な防災訓練を実施してはどうか！

総務企画部長

関係機関と連携し、活用方法を検討していきたい

防災関連について

問 市民の防災に対する意識を、より効果的に高め、住民同士で地域の問題点を話し合い、しっかりと情報を共有する為に、地図を使って防災対策を検討する訓練DIGを実施してはどうか。

また、大きな災害が発生して多数の避難者が殺到した場合、想定通りに避難所の運営が出来るのか、シミュレーションが必要と思われる。避難所運営ゲームHUGで様々な出来事に対応していくか、防災士を中心とした地域住民の方々に、学ぶ機会を提供する事も重要と思うが、考えを伺う。

答 災害図上訓練DIGは住んでいる地域の地図を囲み、どこに危険があり、どこへ避難するかなど、地図に情報を直接書き込みながら行う訓練で、様々な効果があると考えている。避難所運営ゲームHUGは、住民自らが避難所を運営するシミュレーションが出来る為、大変有効である。平成29年度にHUGを4セット購入して貸し出しを行い、要請があれば職員を派遣して訓練の補助を実施してきた。今後はコロナの感染状況を踏まえて、活用方法について関係機関と連携して検討していきたい。

コロナ禍における支援の成果と施策について

問 中小企業・漁業・交通事業者・観光宿泊業・時短協力店への補助金を交付した結果、地域経済は復活の兆しが見えているのか伺う。

答 新型コロナウイルスが収束していない中であるので、兆しは不透明で明確なものとはなっていない。しかし補助金等の支援策は、それぞれの事業継続に繋がっているものと考えている。ワクチン接種が進んだ段階で、様々な需要が回復するのではと期待している。

問 県外に在住している大学生等の支援については、昨年9月議会で質問したが、帰省の制限や自粛要請など困難な状況が続いている。ふるさととして何か支援が出来ないものか改めて伺う。

答 市が実施主体になるものではないが、社会福祉協議会において、協議会が運営しているフードバンクへ寄せられた食料品、さらには市の特産品を詰め込んだものを、ふるさと小包として当市出身の大学生等に届ける取り組みが、今年度初めて実施予定である。年度内に3回程度実施予定であり、市としては、ウイズコロナがらみばる市民応援補助金を通じて支援する考えである。

食品ロスについて

問 農林水産省・環境省の2018年の推計では、日本の食品ロス量は643万トン、国民一人当たりの食品ロスは1日130g、年間47kgとのことである。昨年度における愛媛県全体での食料廃棄物は19・5万トン、その内5.1万トンが食品ロス量と推測されている。令和5年度には10%削減の4.6万トンを目標としているとの事である。当市における昨年度の食料廃棄物・食品ロスの推量はどれくらいか、また併せて削減目標があれば伺う。

答 食料廃棄物が4千800トン・食品ロスが1千270トンと推計される。県の削減目標は2025年度までに、2020年度比で10%削減、長期目標として2030年度までに2000年度比で50%以上削減を達成するとしている。当市においても今年度改正予定の一般廃棄物処理基本計画に食品ロスの削減について盛り込みたい。



遠藤

綾議員



高齢者外出支援事業の改善を！

副市長

制度設計をどうするか考えていきたい

高齢者外出支援事業 (助成券)の改善を

問 高齢者外出支援事業は、65歳以上の方のみで構成する市民税所得割非課税世帯の75歳以上の方に、タクシー、バス等の助成券を、年間1万3千200円分支給するものだが、実績はどのくらいか。

答 令和2年4月の、75歳以上の人数は、7千257人で、令和2年度中の助成券発行数は1千534名分。一人当たりの助成券使用率は約60%となっている。

問 現在の申請数は、全75歳以上の約20%だが、対象を高齢者全体に広げた場合、予算はどれだけ必要か。

答 75歳以上の全員に助成券を発行し、現行の使用率60%で算出した場合、5千600万円程度の予算となり、現在より4千400万円増額となる。

問 高齢でも、実際には券を必要としない人もいる。一方で、車を持たない世帯で、通院や買い物のためにタクシーが必要で、経済的負担を感じ、不公平感を持つ方もいる。高齢化が進む中、75歳以上の希望者全員に助成券を渡し、市内を移動して頂き、市内経済を回してもらったら良いのでは。

答 財源がますます制約される中、大きい意味で制度設計をどうするか、今の意見を踏まえ、考えていきたい。

問 タクシー券の一回の使用上限額が、550円で使いにくいとの声がある。1万3千200円の範囲内で、もっと自由に使えるようにすべきでは。

答 この事業は、外出のきっかけ作りが目的である。利用者の意見も参考に、今後の検討課題としたい。



伊方3号機は40年経過後は延長しないで

問 4月28日、福井県の杉本達治知事は、運転開始から40年経過した関西電力・美浜原発3号機と、高浜原発1・2号機の再稼働に同意を表明した。福島原発の事故後、原発の運転期間を、原則40年と定めたルール下での、初めての特例20年延長となった。

問 国は、2019年度に発電比率が6%だった原発を、30年度に20〜22%にするエネルギー基本計画を、今後も維持するとしている。今後40年を迎える原発が多い中、延長がなし崩し的に進められることを危惧する。

伊方原発3号機は、あと13年で40年を迎える。今後、延長・建て替えなどの議論が出てくることも予想されるが、そうなった場合、市長としてどのような立場をとる考えか。

答 伊方発電所3号機の運転延長や建替については、安全確保に関する覚書に基づき、国の規制委の審査、県の環境安全管理委での議論、市民代表や市の意見等を踏まえ、市として判断する。原子力発電は、国策の中で位置づけられており、国政のより広い場面で議論して頂くことと思っている。

要請 福井地裁で2014年5月に、大飯原発の運転差し止め判決を出した、樋口英明氏は、著書で、「私が原発を止めた理由は、福島原発事故は、2、4号機の大爆発で、30キロ圏内だけでなく、東京を含む250キロ圏まで汚染の恐れがあったが、様々な偶然が重なり、たまたま避けられた。原発は、耐震性の面でも、配管が壊れる恐れもあり、非常に危険だ」と述べている。

伊方原発は延長せず、期限が来たら廃炉にすべきだ、と強く要請する。

西山一規議員



プログラミングやロボットの学習を！

教育長

小中高と系統的な取組を期待

GIGAスクールとプログラミング教育について

問 現在、小・中学校でICT環境がどの程度整備されているか。

答 全小・中学校の主要な教室にWi-Fi環境を整え、端末（ノートパソコン）を2千80台購入し、児童・生徒1人1台を配付している。また、ウェブカメラを全校に整備し、自宅にWi-Fi環境がない児童・生徒のためのモバイルWi-Fiルーターを249台購入している。

問 実際の活用状況はどうか。

答 3密を避けるため始業式、校長訓話などをリモートで実施した例がある。授業では社会科で 구글 地図アプリを使って調べたり、音楽では、鑑賞の授業でロイノート・スクールを使用した。

問 将来的に先生が録画した授業を、児童・生徒が再生するような授業も考えられるが、録画コンテンツ利用の見通しを伺う。

答 既にインターネット上に優れた授業動画が多数アップされており、それらを活用する方向で進めている。今後は、個別最適化の学びと協働学習とのバランスを検証していきたい。

問 プログラミング教育では、実際にプログラミング言語を用いてプログラムを組む授業の計画はあるか。

答 昨年度、小学校低学年では「ビスケット（アプリ）」を用いた漢字学習を行い、上学年では「スクラッチ（アプリ）」を使い、音楽の和音の学習や、算数の図形の学習をしている。

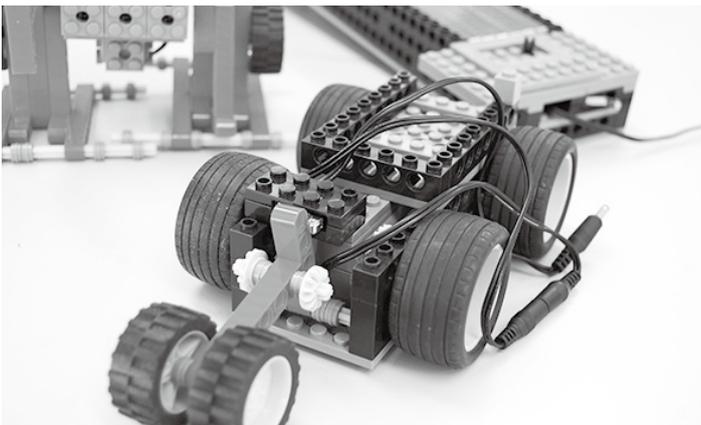


問 私自身もプログラミング経験があり、ワンチップマイコンを使った工作をしている。ノートパソコンの中で完結するプログラミングだけでなく、センサーやモーターを使ったロボットのような学習も有効だと思うが、計画はあるか。

答 実際に物を動かす活動を行うことで、なぜ動かないのか、実現できるまでやり抜く手法を身につけるためにロボットはとても有効な手段と思う。当市では、「レゴブロック」を全校に配

備し、6年生の理科、中学校で情報教育の授業で使っている。八幡浜工業高校がロボットコンテストに活用している「レゴ」の小学校版、中学校版を既に配付し、中学生もロボットコンテストの県大会、中四国大会には出場しており、将来的に小・中・高で系統的な学習の取組ができることを期待している。子供たちみんながIT分野に進むわけではないが、他の教育と同じような選択肢だと捉えている。

要望 IT業界ではリモートで仕事ができる。プログラミング教育に力を入れて、「帰ってこれる八幡浜」を目指すよう強く要望する。



レゴを使った自作ロボット

総務産業委員会
フェリーターミナルビル
 契約の変更内容は
 総務産業委員長
 西山一規

フェリーターミナルビル新築建築主体工事請負契約の締結について

問 今回の変更内容に、利用者調整によるレイアウト変更の経費があるが、これによる利便性の向上が図られた場合、家賃に反映する協議はしているのか。

答 家賃については、不動産鑑定の結果を持って内部で精査している。また、他市の駅前ビル等の類似施設の例を参考に、掛かった費用について、家賃に転嫁できるか内部協議している段階である。

要望 現在、コロナ禍の状況もあり、家賃の減免対応も仕方ないが、コロナ禍が収束して、景気が戻った際は、適正な家賃に戻すよう、きちっとした対応をお願いしたい。

問 今回の変更内容に防護柵の変更追加があるが、これは設計時がどういふもので、今回変更した意図は何か。

答 今回の変更内容の防護柵は、一般の方が、外部階段を通じて4階に上がる際に、事務所窓際に近づくことができるため、一般の方が事務所側に寄つて

来ないために柵を設けるもので、当初は、植栽で計画していたが、植栽より防護柵を希望されたことで変更するものである。

問 今度のフェリーターミナルは、出島の真ん中にあるということで、向灘、愛宕山、栗野浦方面からも見えるため、八幡浜へ来られた方が、フェリーターミナルの場所を簡単に認識できるよう、4階の上に工夫したネオンを付けてみてはどうか。

答 4階の八幡浜港と書いてある部分を、夜は電飾を付けて、はっきり見えるような形でPRしたい。

指摘 度々の変更契約について、当初の設計が一番基であるため、増額追加変更については、行政側として、当初の設計の段階で十分な精査をしていたきたい。



建設中のフェリーターミナルビル

民生文教委員会
市立病院の勤務体制等
 二交代制について
 民生文教委員長
 竹内秀明

市立八幡浜総合病院職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について

説明 この条例改正は、病棟看護師の勤務形態に従来の日勤、準夜、深夜で構成する三交代制勤務に加え、新たに日勤、夜勤で構成する二交代制勤務に対応した支給規定とするよう改正する議案である。

問 二交代制勤務にすることで、看護師の労働負荷軽減につながるなどのメリットはあるのか。

答 二交代制勤務のメリットとして、看護師の深夜通勤及び引継時間がなくなることや、連休がとりやすいこと、また夜勤は長い勤務時間となるが、ナースコール等の呼び出しがなければ休憩休息がとりやすいことが挙げられる。16時半から翌朝9時までの勤務時間に順応することができれば、働きやすい職場環境になると考えている。

八幡浜市民文化活動センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

説明 八幡浜市民文化活動センターの使用について、これまで文化、芸術に係る活動又はボランティア活動を対象としていたが、文化、芸術に係る活動又はボランティア活動以外の活動でも使用できるよう、料金体系を見直すよう改正する議案である。

問 八幡浜市民文化活動センターの会議室1室を借りる場合、使用料金はいくらになるのか。

答 会議室の使用料金は1時間あたり220円である。本改正にて、文化、芸術に係る活動又はボランティア活動以外での使用が可能となった場合、その際の使用料金は1時間あたり440円となる。

問 本改正により、八幡浜市民文化活動センターはどのような目的でも使用可能な施設になるのか。

答 使用できる活動については、本条例の議決後に規則にて定めることとなる。詳細については検討段階である。ただし、対価を頂いて行う教室や、市の特産品や公的役割のある物の販売については、許可する方向で考えている。

新型コロナウイルスワクチン集団接種



予算委員会

プレミアム付飲食券事業

増刷・再販について

予算委員長

平家 恭治

プレミアム付飲食券事業交付金について

説明 昨年、やわたはま食うぼん券3万冊を印刷、2月8日から販売を開始し、使用期限・販売期限ともに8月31日まで延長した。6月2日で3万冊が完売し、飲食店に対する効果的な支援につながっており、5千冊を増刷するものである。

問 議会可決後の発注では、販売時期が遅くなるのではないかと。市民の要望があり、早く販売できるように策は講じないのか。

答 再販は、7月1日を予定している。6月11日現在の使用率は、78.6%。市場で約6千400冊が使用されておらず、今月中に全て使い切ってしまうことは想定できないため、7月1日の販売で良いと思っている。

問 市民に対する増刷の周知方法は。また、ホームページと市のLINE及び、新聞の折り込みチラシを予定している。

答 ホームページと市のLINE及び、新聞の折り込みチラシを予定している。

問 プレミアム付飲食券事業の登録業者は何店舗か。また、飲食以外の物品販売業は何店舗と把握されているのか。

答 商品券登録店から推測すると、飲食店の登録業者は110店舗あるため、物品販売業は400店舗くらいである。

問 物品販売業に対して支援や協力をされるのか否か。

答 コロナ支援の間は、支援策を使ってもらい、コロナ禍が落ち着き、経済状態が戻った中でも経営不振な部分が見られる業種は、実績のある商品券事業など支援が出来る範囲で考えてみたい。また、違ったかたちでの支援が必要であれば、状況を見ながら具体的な支援策を考えていかなければならない。

要望 中心市街地の一般物品販売業の様子について、情報をしっかりと耳に入れ、行政対策をしていただきたい。

新型コロナウイルス感染症対策営業時間短縮等協力金事業補助金について

説明 県の要請で4月26日から5月19日迄の24日間、午後9時以降に酒類を提供する飲食店に対し、営業時間短縮の協力をお願いしたが、県の感染対策期が5月31日迄延長されたため、協力要請期間も5月20日から5月31日迄延長となり、延長期間12日分の予算を追加計上した。

問 5月20日時点の申請に対して、支払いが全部済んでいるのか。また申請の不受理はあるのか。

答 第1弾は、全部で149件中、135件が申請にきており、133件は支払いが完了している。第2弾は、151件中、129件の申請がきている。なお、申請の不受理はない。

編集後記

「みんなのことはみんなで決める」という考え方を民主主義といいます。限られた時間の中で、全員の意見が一致しないこともあり、その場合には、多くの意見を政治に反映させるために、多数決の原理に基づいて決定が行われます。ただし、多数決を用いて結論を出す前に、少数意見の尊重のために、十分に議論することが大切です。一時的な感情にとらわれてはなりません。」中学社会 公民的分野 36ページ「私たちにとつての政治と民主主義」より抜粋。

市議会議員16名は様々な立場から選ばれています。多様な意見をぶつけ、議論を繰り返したうえで採決しなければなりません。議論なき採決は民主主義と呼べるのか？4年間を振り返り、次の議会はより良いものになつて欲しいと切に願います。

《議会だより編集委員会》

- 委員長 遠藤 綾
- 副委員長 菊池 彰
- 委員 西山 一規
- 委員 佐々木 加代子
- 委員 樋田 都
- 委員 新宮 康史
- 委員 上田 浩志

八幡浜市議会事務局

TEL 22・5998

市議会の詳しい情報は、八幡浜市議会のホームページをご覧ください。

八幡浜市議会 検索



「やわたはま議会だより」は、環境にやさしい植物油インキと再生紙を使用しています。